

中1数学A 冬期 §4 重心・垂心の存在 本問解答

※ 欠席してしまった場合は、**問4.1**を自分で確認してください。余裕があれば全問解きましょう。

問4.1

(1)

[証明1]

ALに対して、BMとの交点Pを考えると、
M,LがAC,BCの中点なので、中点連結定理より、

$$AB : ML = 2 : 1 \quad \text{.....} \quad ①$$

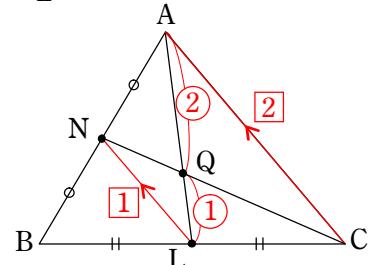
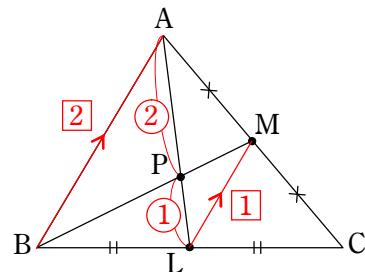
$$AB // ML \quad \text{.....} \quad ②$$

$$\text{①②より、} AP : PL = 2 : 1 \text{ (平行線と比の定理)} \quad \text{.....} \quad ③$$

ALに対して、CNとの交点Qを考えると、

$$\text{同様にして、} AQ : QL = 2 : 1 \quad \text{.....} \quad ④$$

③④より、PとQはALを2:1に内分する点なので一致し、
3本の中線AL,BM,CNは1点Pで交わる。 (q.e.d.)



[証明2]

ALとBMの交点をPとし、CPの延長線とABとの交点をQとする。

$$L \text{がBCの中点なので、} \triangle ABP : \triangle ACP = BL : CL = 1 : 1 \quad \text{.....} \quad ⑤$$

$$M \text{がACの中点なので、} \triangle ABP : \triangle CBP = AM : CM = 1 : 1 \quad \text{.....} \quad ⑥$$

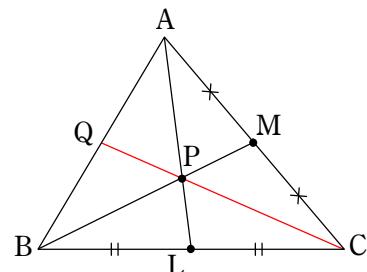
$$\text{⑤⑥より、} \triangle ACP : \triangle BCP = 1 : 1 \quad \text{.....} \quad ⑦$$

$$\text{ここで、} AQ : BQ = \triangle ACP : \triangle BCP \quad \text{.....} \quad ⑧$$

$$\text{⑦⑧より、} AQ : BQ = 1 : 1, \text{ すなわち、} AQ = BQ$$

よって、CQは中線CNと一致するので、

3本の中線AL,BM,CNは1点Pで交わる。 (q.e.d.)



(2)

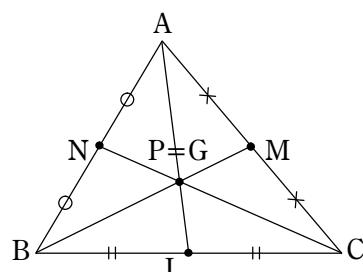
[証明]

3本の中線の交点をGとおくと、

$$(1) \text{の [証明1] のなかで } P=G \text{ として、} AG : GL = 2 : 1$$

他の中線BM,CNでも同様なので、

Gは中線AL,BM,CNを2:1に内分する。 (q.e.d.)



(3)[#] 三角形の厚紙で実験してみよう。

問4.2

[仮定] 3円 O_1, O_2, O_3 の半径が等しい ①

(1)(2)は、H3.2と同様なので、証明の方針だけを書いておきます。詳しくは、H3.2の解答を参照してください。

(1)

[結論] $AP \perp BC$

[証明の方針]

H3.2と同様に、

①より、四角形 AO_1PO_2 はひし形なので、

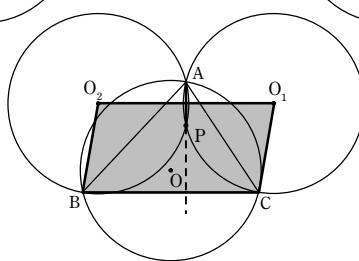
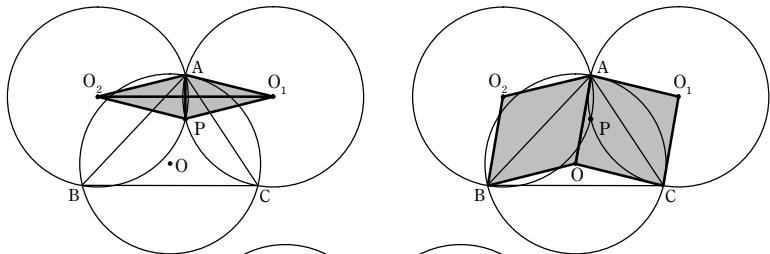
$AP \perp O_1O_2$

①より、四角形 $AOBO_2, AOCO_1$ はひし形なので、

四角形 BCO_1O_2 の向かい合う1組の辺が平行かつ等しいことが示せ、 BCO_1O_2 は平行四辺形である。

よって、 $BC \parallel O_2O_1$ なので、 $AP \perp O_1O_2$ と合わせて、

$AP \perp BC$ である。



(2)

[結論] $BP \perp AC$

[証明の方針]

(1)と同様に、

①より、四角形 $AOCO_1$ はひし形なので、

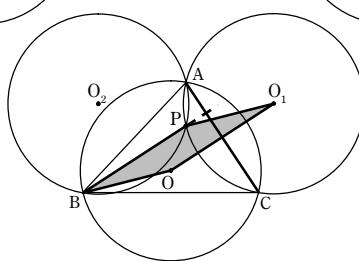
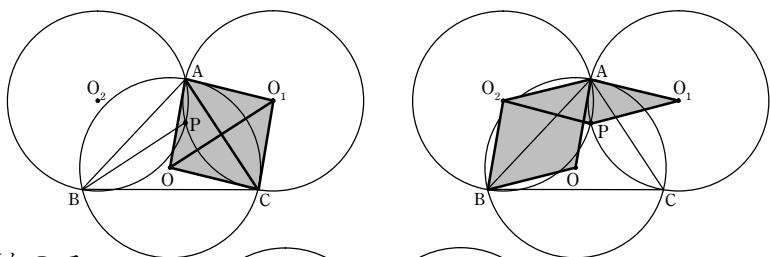
$AC \perp OO_1$

①より、四角形 $AOBO_2, AO_1PO_2$ はひし形なので、

四角形 BOO_1P の向かい合う1組の辺が平行かつ等しいことが示せ、 BOO_1P は平行四辺形である。

よって、 $BP \parallel OO_1$ なので、 $AC \perp OO_1$ と合わせて、

$BP \perp AC$ である。



(3)

[証明] (2)と同様にして、 $CP \perp AB$ もいえるので、(1)(2)の結果と合わせると、

3辺 AB, BC, CA への3本の垂線 CP, AP, BP は、1点 P (垂心という) で交わるとわかる。 (q.e.d.)

(4)

[証明] 円 O の弧 AB を辺 AB に対して折り返した弧が円 O_2 の弧 AB 、

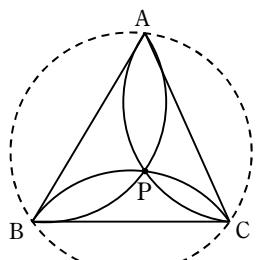
円 O の弧 AC を辺 AC に対して折り返した弧が円 O_1 の弧 AC で、

(3)の結果から、その交点 P が $\triangle ABC$ の垂心である。

したがって、 $\triangle ABC$ の外接円の弧 AB, BC を辺 AB, AC に対して折り返した弧の交点 P は $\triangle ABC$ の垂心である。

同様に、 $\triangle ABC$ の外接円の弧 BC, CA を辺 BC, CA に対して折り返した弧の交点も $\triangle ABC$ の垂心なので、その交点は P である。

したがって、外接円を各辺に対して折り返した弧 AB, BC, CA は、一点 P で交わる



(q.e.d.)